

児童発達支援自己評価表【指導員自己評価結果】

事業所名：児童発達支援・放課後等デイサービス ほっぷ・すてっぷ滑川

公表日：令和7年2月18日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			集団、個別それぞれの活動に十分なスペースを確保できている
	②	職員の配置数は適切であるか	9			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	6	1	訓練室が2階にあり、エレベーターなどは無いが必要な場合は指導員が支援を行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9			定期的に支援会議を行い、情報を共有し業務改善を図っている
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	9			年1回、匿名のアンケートをまとめ、職員間で共有し、今後の方向性を再度確認する機会を設けている
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか	8	1		ホームページにて公開し、業務改善を図っている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	3		
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2		定期的に行っているほか、外部研修にも参加している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9			アセスメントシートを元に保護者とも課題について確認し、5領域の観点から計画の作成を行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1		日常生活、社会生活のあらゆる場面ごとに課題を確認できるシートを用いている
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			発達支援として本人自身の課題、家族支援として日常生活上でご家族と支援方法や情報の共有が必要な課題、地域支援としては本人を取り巻く地域の関係機関（幼稚園、保育園等）と連携が必要な課題をそれぞれ明記している

	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			スタッフ間の支援会議を通して目標・課題について認識を共有し、それを元に支援を行っている
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			活動についての提案やフィードバックを適宜に行っている
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			子どもの様子や支援内容に応じてその都度見直しを行い、上達を図りつつ やりごたえのある内容に発展させている
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9			落ち着ける環境が必要な場合や、集団行動を課題としている場合など、それぞれのケースに応じて、個別・集団での支援を明記し計画を作成している
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			ミーティングを実施する事で職員全員が同じ方向性を持ち利用者に関わる事が出来る
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	9			終了後には必ず意見交換や反省会をして次の支援につなげている
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			支援終了後に記録をとり、次回の支援内容について検証、改善に努めている
	⑲	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			都度新しいニーズや過去目標の達成具合について確認、評価を行い計画が固定化されないようにしている
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	9			対象児童に関わるスタッフが可能な限り揃った状態で会議を行っている
	㉑	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	2		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援の為に、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		6	3	医療的ケア児の在宅支援を行っていない (看護師資格保持者の在籍がないため)
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関と連携体制を整えているか		7	2	医療的ケア児の受け入れを行っていない (看護師資格保持者の在籍がないため)

	②④	保育園や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9			送迎時に様子や支援内容・課題等について情報共有を行っている。また、施設や園での様子を相互に見学しあうことで支援内容等の共通理解を図っている
	②⑤	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか	7	1	1	移行される学校関係者と情報共有を行い、見学の受け入れ等を行っている
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3		
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいの無い子どもと活動する機会があるか	8	1		
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	2		子ども支援部会に参加している
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			当施設での様子を伝え、家庭での様子の聞き取りを行うことで保護者と共通理解を図っている
保護者への説明責任等	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	7	1	1	不定期だが親子参加イベントを開催している
	③⑪	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時、更新時等に必要な説明を行っている
	③⑫	児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9			児童発達支援ガイドラインにおける5領域の観点から目標・支援方法を設定し、計画書作成後に、説明を行い同意を得ている
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			送迎時やモニタリング等で相談に対する助言を行っている他、毎月第二土曜日に保護者を交えたプログラムを展開しており、助言や傾聴を行っている

	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したり等、保護者同士の連携を支援しているか	6	3		集団での児童発達支援の場において保護者同士での交流を促進している
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			相談や申し入れがあった際、対応を責任者が決定し、お子様や保護者に対して迅速に対応を行っている
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2	2	祝日のイベントや避難訓練、送迎の時間帯の変更(大雪など)といった周知事項があれば、チラシやお知らせを配布している
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9			個人情報を外に持ち出さないことを徹底している
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	9			必要外の物を極力減らした環境を提供し、落ち着いて活動に取り組んでもらえるよう配慮を行っている
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	1	個人情報の漏洩を防ぐため実施していない
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9			契約時、更新時に各種マニュアルについて説明を行っている
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1		年に2回避難訓練を実施し、緊急時に備えている
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9			アセスメントシートにて確認を行っている
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		1	基本的には、全除去で対応している アレルギーのある利用者への提供は職員間で再確認を行っている
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			事案発生ごとに会議を実施し、原因追及と対策を指導員全員で話し合っている
	④⑮	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			虐待防止委員会を設置、研修を行っている
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9			現状、拘束が必要な児童はいないが、必要なケースがあれば支援計画に記載する